

東京女子医科大学創立者の吉岡彌生氏は現在の掛川市出身です。その生誕の地である掛川市には掛川市吉岡彌生記念館があります。

自然に囲まれ静かにたたずむ記念館は、女性らしいやさしいデザインと落ち着いた雰囲気、そのまま吉岡彌生、その人を彷彿とさせています。



1外観

吉岡彌生(よしおか やよい)氏は女性医師の少ない明治の時代に医師を志し、医師になっただけでなく、結婚し母となり、そして女性のための医科大学創立と活躍しました。そんな彼女の人生を写真や遺品で紹介しています。



2吉岡彌生記念展示ゾーン

その横には看護とケアの展示ゾーンがあり、健康コーナーでは体脂肪なども測ることができます。

看護とケアをテーマに、地域住民の健康調査結果のパネル展示や看護に関するクイズ、医療や健康関連図書などを設置しています。



DSC00135



DSC00134

記念館の隣には彼女の生家が移築されています。父が漢方医だったため、医院を兼ねた家は、日本建築の美しさが残されています。玄関に一步足を入ると、昔の日本にタイムスリップしたような気持ちになります。



[DSC00126](#)



[DSC00117](#)

台所や棚に懐かしさを感じつつ、たくさんの人たちが出入りした様子が目に浮かびます。



[DSC00115](#)



[DSC00116](#)

この掛川市吉岡彌生記念館では年間を通してイベントや健康セミナーなどが開かれています。

先月24日には第一回健康セミナー「眠らない脳はない、なぜ眠れないのか？」という講演会がありました。講師は東京女子医大の名誉教授岩田誠先生。大雨にもかかわらず100人定員のところ、ほぼ満席でした。医学的なお話は難しいのでは？と心配でしたが、とても楽しくわかりやすい説明で度々笑わせて下さいました。

たとえば、「人間は本来3日眠らずにいることは不可能。『昼寝ていない』とご本人が言ってもコックリコックリやっている人がほとんど。眠らないのではなく寝ちゃっている人が多いんです。」という具合です。私も80代の両親が健在です。本人は否定するのですが、けっこう昼にコックリコックリして「夜眠れない」と嘆きます。

人はみんなが寝るときに眠れないことが悩みになってしまうようです。そんなお話で始まって、眠るための脳の仕組みや睡眠障害はなぜ起こるか、などとても有意義な講演でした。

来年2月25日には第2回健康セミナーとして、「感染症にかからないために」という講演が予定されています。



[DSC00103](#)

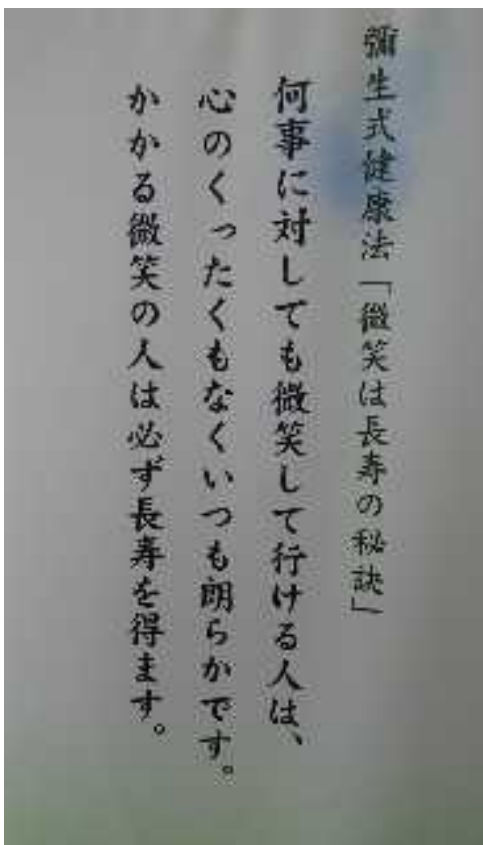
吉岡彌生氏自身、すばらしい言葉をたくさん残しています。
代表的なものが、記念館に紹介されています。



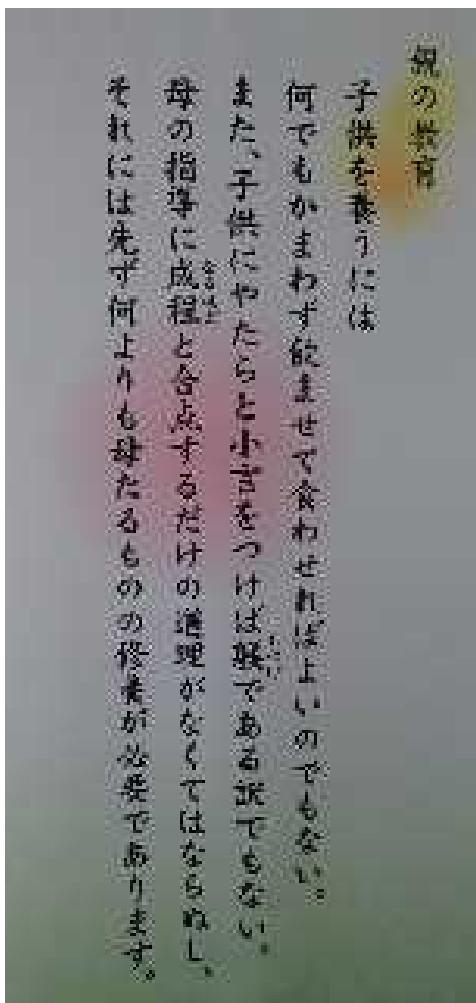
[DSC00129](#)

その中に「何事に対しても微笑して行ける人は、心のくたくもなくいつも朗らかです。かかる微笑の人は必ず長寿を得ます。」
と微笑は長寿の秘訣というのがありました。
今でこそ、「笑うことはがんやウイルスに対する抵抗力が高まる。」
と医学的に証明されていますが、明治の時代にきっぱり言い切っているのはさすがです。

この他にも子育てや女性としての生き方について、素敵な言葉が紹介されていますのでぜひ読んでください。
(プリントされたものもあります。)



[DSC00130](#)



[DSC00131](#)

近くには城好きな人に欠かせない高天神城跡もあり、秋も深まるこれから歴史に触れながら静かなひと時を過ごすのも良いのではないのでしょうか。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日・第4火曜日

（祝日の場合開館、翌日開館。）

第4火曜が年末の休館日と重なる場合、第3火曜休館）

展示替え・年末年始（12/28～1/4）

入館料：高校生以上 個人200円 団体(20名以上)160円

中学生以下 無料

* 特別展開催期間中は高校生以上300円になります。

身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳の

交付を受けている方とその介助者1名は無料です。

しずおか子育て優待カード利用で団体割引料金適用します。

小笠・榛南地区生きがい特派員 荒木弘子